

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和8年3月20日		～ 令和8年3月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年3月20日		～ 令和8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害児や医療的ケア児を受け入れているため、職員はそのようなお子さんの対応に慣れている。	・チームで対応しているため関わる職員が毎回同じ職員に偏らないようにしている。 ・お子さんの発達状況、身体状況、疾患、医療面などを考慮しながら日々の支援をしている。	・支援の中で気づいたことなどがある時は職員間で頻繁に共有している。 ・ミーティングを月に1回することでお互い意見を出し合う場を設け、支援に生かせるようにしている。 ・昨年度から勉強会を始めたので、今後はそれを定期的にできるようにしていきたい。
2	医療的ケアのあるお子さんを対象にしており、利用開始時の年齢が小さい方がほとんどである。安全を期すために利用定員より少ない人数で、こまやかな支援の提供を心がけている。	・送迎ありのため添乗者以外は保護者に直接会わないが、保護者が連絡票に書いてくれていることには毎回コメントを返し、コミュニケーションをとるようにしている。 ・お子さんの小さな反応や変化も見逃さないようにし、それを職員間で共有したり、連絡票にも細やかに残している。	・知識や経験を増やし、そこから得たことを実践する、を繰り返しスキルをあげていく。それをお子さんそれぞれの成長に合わせて適切な支援につなげられるようにしていきたい。 ・お子さんとその家族の状況も合わせて、寄り添った支援は何ができるかを考えた支援をしていきたい。
3	発達状況に合わせた活動プログラムを毎月計画し、午前午後と活動を実施している。	・活動内容は偏りが出ないような様々な感覚を使うよう検討している。また、活動中はお子さんそれぞれが持っている課題にアプローチできるよう介助の仕方、関わり方などを調整している。 ・重症心身障害児は呼吸や姿勢、筋緊張に課題がある場合が多いため、リハビリ的要素のある活動も取り入れている。	・大きな道具がないため、それに代わる遊び方をたくさん考えていきたい。 ・敷地内にたくさん自然があるため、屋外に行くのが難しい真夏や真冬でも季節を感じられる工夫をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が少ない為、こどもの集団生活で本来得られる経験があまりできない。	・利用されているお子さんは医療的ケア度がそれぞれ違うため、安全にお預かりするには受け入れられる人数が少ない。	・敷地内に保育園があるため交流できる方法を検討する。 ・多機能型事業所なので、同じ年代の方とは難しくても年齢に合わせて他の利用者と交流できる機会をもう少し持つてるようにしていきたい。
2	送迎ありなので年齢が小さかったり体調が不安定な方は負担になっているときがある。	・年齢が小さいお子さんの場合は送迎車に乗れるような福祉用のバギーを持っていないことが多く、貸し出すことがある。その場合、体のサイズに合わせてリハビリ課で調整はしてもらいが、送迎などの揺れる状況にずっと乗っていると負担になる。 ・ご自宅までの距離によっては、乗車時間が長くなったり、乗車中に吸引が必要になるなど身体的、心理的負担がある。	・成長途中でバギーの作成は難しい現状があるので、今後療育センターなどと交えて相談していきたい。 ・送迎はなるべく最短ルートになっているが自宅の場所にもよるため、保護者とも連携をとりながらそのお子さんにとっていい方法を検討していきたい。
3			

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		使用している専用スペースは利用定員5名に対し適切な広さ、空間を確保している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員5名で医療的ケアのあるお子さんに対し適切な人員配置をしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動の場は活動内容に応じて適した場所で行い、食事は他の利用者と同じ空間で過ごすことで食事の時間だと認識しやすいようにしている。また、施設内はバリアフリーになっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		部屋は使用前と後に清掃、除菌し清潔を保持している。また、活動内容に合わせてマットや机、遊具の配置を工夫している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて施設内の設備や部屋を使って活動できている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務改善のためのPDCAサイクルは各職員が個人目標に上げ、実施している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の評価は好意的なご意見をいただくことが多かったが、その内容を継続していけるように業務に反映させるようにしている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行い、そこで職員の意見を聞く場を設けて業務改善や支援につながるようにしている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		令和7年度での第三者評価では業務で継続していくべき点と課題点を抽出し、勉強会などを実施している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人研修では新人研修、フォローアップ研修、他様々なテーマでの研修に参加。施設内研修では法定研修の他にアサーションやリハビリに関するものなど年間計画を立てて様々な研修に参加。外部研修では重症心身障害者への支援や医療的ケアに関すること、発達に関することなど職員の希望に合わせて参加できるようにしている。
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは具体的な活動例なども記載し、法人ホームページ及び施設内に掲示して公表している。	
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者から毎年アンケートをとり、生活面や発達面での希望をうかがって支援計画に反映している。また、日々の支援での様子をアセスメントし、それも支援計画に反映させている。	
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画は多職種で関わるスタッフが定期的にカンファレンスを行い、アセスメントや支援内容等はこどもに対し共通理解のもとで、そのこどもに最善な内容が検討している。	
14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的にカンファレンスをする事で計画内容を共有している。また、毎年保護者との面談を行い、要望や意見をじっくり言える時間を作ったり送迎時に情報共有できるようにしている。	
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントは事業所で統一して作成しているアセスメントシートに5領域の視点も加えて行っている。また、日々の記録も参考にアセスメントをしている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	支援計画はガイドラインにある必要な項目に沿って設定し、項目によるねらい及び支援内容も踏まえながらアセスメントをすることで一人一人にあった支援計画をたてるようにしている。また、定期的に計画を見直すことで支援内容が適切か判断している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	チーム内で立案者を月ごとに決めて作成し、当日はそれをもとに利用する児童の体調や気温など考慮して活動プログラムを決定している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	活動プログラムは静的活動と動的活動などをバランスよく取り入れながら、感覚遊びなど内容が偏らないようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	発達状況にあわせて必要な個別活動、集団活動でのニーズや課題を支援計画に取り入れ、活動ではそれに合わせたアプローチをしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	前日や当日の朝打ち合わせを行い、必要に応じて多職種で連携して支援ができるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	支援終了後や定期的に行っているミーティングで振り返りを行い、気づいたことはエピソードを交えて共有している。また、活動の記録にも詳細を残すことで速やかに共有できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	活動面や生活面、医療面など詳細をSOAP記録で残すことでアセスメントや次のアプローチをどうするかなど記録者が客観的に考えることで支援につなげられるようにしている。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	他職種のチームで定期的にモニタリングを行い、都度支援計画の内容が適切か判断し、必要に応じて見直しを行っている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	サービス担当者会議などには児童発達支援管理責任者や可能な時は看護師も参加し、発達面と医療面で情報提供できるようにしている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	毎月地域の医療ケア児を受け入れている事業所間で集まり、情報交換や研修を行うことで日々の連携を取りやすくしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	時には年齢が様々な大人の利用者に混じって空間や雰囲気共有し社会性を育めるような環境を作ったり、必要に応じて保育園と連絡をとれるように連携をとっている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	就学後のサービス担当者会議で情報共有を図っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	日頃から療育センターとのやりとりを行うことで必要な時はスムーズに連携がとれている。また、困ったことがある時は相談している。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	敷地内に保育園があるが、活動と一緒にする機会は持っていない。お散歩などで会った時にコミュニケーションをとることはある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	連絡票、送迎時に相互に現状について共有し発達面、生活面、医療面について共通理解を持っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	自事業所では家族が参加する研修などは実施していない。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	運営規定、利用負担は事務職員から説明し、支援プログラムはサービス管理責任者が主に説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	一年に一度、家族の意向をアンケートで取っている。本人の意向は重症心身障害児においては直接聞くことは難しいため、日々の関わりから得られる表出をもとにアセスメントをしっかりと行うようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	支援計画は書面を示しながら説明し、保護者の同意を得て支援をしている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	支援計画の面談時に困りごとに対して相談に応じたり、送迎時や連絡票で困りごとがある様子の時は電話などで相談に応じたりしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	利用児童の平均年齢が2~3歳と低く、医療ケアのある重症心身障害児は体調不良でお休みすることが多かったり、登録人数も少ないため、当日交流できる人数が集まるか不確定で保護者会はしばらくできていない。放デイの保護者も含めると就学に向けての話もできるかもしれないので、今後実現できる方法を探していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談窓口を決め、相談内容に応じて対応者を役割分担し保護者へも周知し、対応している。また、地域相談支援センターの担当者とも連携し速やかに対応できるようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	年に数回、活動の様子分かる写真を載せたお便りを配布している。利用人数が少なかったり欠席などで配布する回数が少ないのが課題である。また、現在SNSは活用していない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報保護の規定に沿って支援をしている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	利用児童には本人がなじみのある言葉やおのまを多用したり、非言語コミュニケーション、本人が理解しやすい方法を探るようにしている。保護者へは送迎時や連絡票でこまめにやりとりをしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	施設全体で行うお祭りでは、昨年度は入所と通所すべての家族が参加可能となった。また、施設として地域の子どもや家族に向けた行事を定期的に開催している。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各マニュアルは施設内で策定されたものや通所内で策定している。それぞれの委員や係が中心になって職員への周知や研修、訓練を行っている。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	施設全体としてのBCPは作成されているが、まだ通所の細かい内容までは検討段階であるため早急に進めていく必要がある。訓練は定期的に実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	利用登録時に当施設の外来受診で確認している。また、予防接種をしたらその都度報告をしてもらっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	現在利用している児童に食物アレルギーのあるお子さんはいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	利用者の送迎時や通所中の急変や胃腸・気管力ニューレの事故除去に対するマニュアルを作成し、研修を定期的に実施している。

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	送迎中や通所中に問題が生じた場合はすぐに連絡が取れるように連絡先の交換を保護者と実施している。また連絡票ファイルに利用者の状態が分かるもの（病名、主治医、内服薬、アレルギー等）を作成し、救急搬送時に使用することを伝えている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットは書面に印刷し全員が確認できるようにしている。再発防止に向けては医療安全委員会の職員が中心に傾向や対策を定期的に検討している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に虐待防止に関する研修や、普段の支援を振り返る機会を施設全体で設けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	身体拘束に関して施設全体でマニュアルを策定し、それに沿って組織的に決めている。また、実施前には理由や場所、時間などを説明し了解を得て、支援計画に記載している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎
------	-------------------

公表日 2026年 4月 14日

利用児童数

3

回収数

1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	0	0	0	1		
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	1		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		